

(法第 28 条第 1 項関係)

## 令和 5 年度 事業報告書

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人インクルーシヴ・ジャパン

### 1 事業の成果

平成 29 年 5 月 1 日より開設した、就労継続支援 B 型事業所「インクルーシヴ・松山 ヒカリのアトリエ」の受託・運営が 7 年目に入った。何らかの障がいのため一般の仕事に就くことが難しくなった人や一般就労に向けて訓練したい人など通算 123 名と契約し、アートを媒体とした就労支援を行っている。一人ひとり違った背景と個性を持つ方々の障害特性に応じた環境を整備し居場所を創り、それぞれの方の魅力を最大限に引き出すよう支援している。一般のギャラリー等での展覧会や販売会、またグッズ制作や印刷物等により、障がいのある方のアートの魅力を社会に広げてきている。ご利用者が自己肯定感を取り戻し、就労生活の基盤を整え、一般就労に向け前進されるステップになっており、実際に一般就労された方も通算で 15 名になった。

令和 5 年度には、新たな取り組みとして、新潟「まちごと美術館 cotocoto」を運営する株式会社バウハウスと連携し、障がい者アートのレンタルを通じた彩り溢れる共生のあるまちづくりや障がい者の収入につなげていくためのパートナーシップ契約を締結した。

障がいのある人と社会をアートの力で結び・繋ぎ、作品がレンタルされるごとにアーティストに収益（工賃）が生まれると同時に、多様性に富んだ包摂的な社会づくりのフラッグとしてアートを取り入れていくことを目指します。

また、昨年度に引き続き廃棄される資源や食品残渣のリサイクル率の向上を推進する一般社団法人アップサイクル連携し、神戸市と協働で森林・里山・生物多様性保全の重要性を考える機会創出の取り組みとして、神戸市内で未利用であった間伐材をアップサイクルした紙糸「TSUMUGI」で織られた生地に障がい者アート作品を掛け合わせた「紙糸キャンバス」の製作を行った。ヒカリアのアトリエ所属作家 2 名が「神戸・六甲山」をテーマに、瑞々しい緑の森をイメージし、閃いたことや森への想いを表現し、製品化にあたっては生地だけでなく、フレームにも未利用な六甲山の間伐材を使用するなど、自然環境をより身近に感じるよう工夫を施した。

「紙糸キャンバス」を介して、障がい者アートのもつ多様性を楽しんでいただくとともに、暮らしの中から自然環境を守り育てていくことや、持続可能な社会に向けて共感を得られる機会に繋げていきたい。

さらに、ジャガー・ランドローバー愛媛と協働で障がい者の社会参加・就労支援機会創出と廃棄物削減を啓発する取り組みとして、「ジャガー・ランドローバー愛媛 × インクルーシヴ・松山ヒカリアのアトリエ展 with アップサイクル」を実施した。ヒカリアのアトリエ所属作家の約 40 点に及ぶアート作品の展示を行い、作品の一部には使用後のエアバッグといった車載部品や、使用後の紙資源や未利用の間伐材から生まれた紙糸「TSUMUGI」で織られた生地を素材として活用し、それぞれの作家の本質が現れたストーリーを感じられる様々な作品が「ジャガー・ランドローバー愛媛」の店内を彩った。

次に、障がい者の就労機会創出のため、高度な編集スキルを持った映像制作人材を創出するプロジェクトを開始した。その第 1 弾として CM プランナーを招聘した動画制作セミナーを約 1 年間

にわたって開催している。昨今、SNSをはじめとする動画制作の需要が企業や個人の方から高まっており、映像を通じた表現活動の機会が増えているが、障がい者の就労支援における映像制作においては、動画に関心があっても、編集をはじめとしたスキル等の問題から仕事として要望にお応えすることが難しいといった課題がある。そこで、ソフトウェアの選定など基本的な知識から、テロップやBGM、エフェクトといったTVCMでも使われるような高度なテクニックまで、約1年間にわたって編集スキルを身につけることで、企業CMの制作といった就労機会の創出を目的としている。

最後に、令和6年2月には、2施設目となる就労継続支援B型事業所「インクルーシヴ・松山 ヒカリのアトリエ 2nd」を開設し、令和6年度以降も、さらにスタッフの支援力を高め、ご利用者様の潜在力を引き出し、アーティストを育て、作品集の出版や展覧会を通じて社会との繋がりを開拓し、インクルーシヴな取り組みをより一層展開していきたい。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの受託・運営	就労継続支援B型事業所の受託・運営	通年	法人事業所内	25名	60名	139,868

### (2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額 (千円)
実施していない					

### (備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(2)には、定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。